

令和3年度 第1回 帯広市有林野管理経営審議会 議事概要

○日時 令和3年6月29日（火） 9時30分～10時20分

○場所 市役所庁舎10階 第6会議室

○出席者 委員：家常委員、岡崎委員、春日委員、櫻井委員、須田委員、大門委員
中野委員、平田委員、渡邊委員
事務局：池守農政部長、小林農政室長、廣瀬農村振興課長、鈴木農村振興課長補佐
勝野係長、奥田主任補、岡主任補、関係員、赤坂事務職員（林業振興係）
傍聴者等：報道関係者1名

○配布資料 資料① 帯広市有林野管理経営審議会概要
資料② 帯広市の森林について（全体）
資料③ 帯広市内の森林種類
資料④ 市有林の概要
資料⑤ 施業計画比較表
資料⑥ 帯広市森林施業計画（第13次市有林施業概要） 抜粋
資料⑦ 令和3年度林業振興関係事務事業別 予算対比増減調

1. 開会

2. 委嘱状の交付

米沢市長より、委嘱状を各委員へ交付

3. 市長挨拶

本日は、お忙しい中、ご出席を賜り、ありがとうございます。皆様には、日頃から本市の森林・林業行政をはじめ、帯広市のまちづくりにご理解とご協力をいただき、心からお礼を申し上げます。ただいま、委嘱状をお渡しさせていただきました。本審議会の委員をお引き受けいただき、誠にありがとうございます。

「緑の社会資本」とも言われる森林は、木材等の生産だけでなく、国土の保全、水源の涵養、地球温暖化の防止など、多面的な機能を有しています。SDGs やカーボンニュートラルの考え方が世界に広がる中で、森林の重要性は、ますます高まるものと思います。こうした機能を将来にわたって維持していくため長期的な視点に立ち、適切かつ計画的に進めることが必要です。このため、帯広市では、昨年度、本審議会にて策定した森林施業計画に基づき、計画的・効率的な森林の経営管理に努めてまいりたいと考えております。

委員の皆様には、専門のお立場から、本市の森林整備並びに林務行政に対して活発なご審議を賜りますよう、お願い申し上げます。どうぞ、よろしく願いいたします。

4. 自己紹介

各委員が自己紹介

5. 事務局紹介

農政部長による職員紹介

6. 議事

(1) 正副委員長の選任

農政室長が議長として議事進行。帯広市有林野管理経営審議会条例第5条第1項の規定により、委員長は平田委員、副委員長は家常委員に決定。

(2) 委員長挨拶

ただいま、委員長に推薦されました平田と申します。副委員長の家常委員と力を合わせて本審議会を皆さんのご協力のもと進めてやっていきたいと思っております。2年間という任期ですが初めての方もおられて、この資料があってもまだ全体像が分からないと思っております。皆さんと一緒にまずはどういう状況なのか、5か年計画策定されましたが、まず我々が理解したいと思っております。その上で、将来を見据えた帯広市有林の審議を進めていきたいと思っております。皆様、どうかよろしくお願いたします。

(3) 報告事項

- ・帯広市有林野管理経営審議会概要について（資料①）
- ・市内の森林の現状と市有林の施業について（資料②～⑥）
- ・令和3年度の予算について（資料⑦）

資料に沿って、事務局より説明。

<委員からの意見・質疑>

【委員】

施業計画では、択伐・皆伐が今年度7.85ha、5年間で約48ha見込んでいる。伐採の適齢期を迎えている森林が数百haある状況の中、収穫のペースが計画上少なくないのか。皆伐できるものは滞りなくできる計画であるのか。

また、適齢期を含めた材に対して皆伐がどれくらい進むのか。人工林の伐採の方向性、どのように環境維持しながら皆伐を進めていくのか。

【事務局】

現時点で伐採適齢期を迎えた林分が多くあるが、帯広市有林は普通林のほか、土砂流出防備保安林や防風保安林など色々と制約がある森林もあるため、全てを切るのは難しい。保安林の役割を維持しながら可能なところは伐採していき、普通林においては伐採可能な森林は積極的に切っていくよう計画を策定したところである。防風保安林についても、施業計画に記載しているとおり、皆伐だけではなく、伐採と造林を計画的に進めていきたい。

【委員】

昨今、ウッドショックが話題になっているが、材の供給が少なくなって価格が高騰している。市有林の立木を伐採し売却した際収入が増える見込みはあるか。また、材が供給不足となっている中、市場のニーズに応え、帯広市が持っている森林材を利活用していく考えはないのか。

【事務局】

立木等の売り払いは入札制としていることから、市場価格の動向が反映された適正な価格で売却されるものと考えている。また、供給の面においては、現在市有林では適切な間伐により木の成長を促し、伐採適齢期時点で良い材が市場に供給できるよう整備を行っている。昨年度には今後5年間の施業計画を定めているため、この計画に沿って伐採を進めるとともに、状況を見極めながら市場ニーズ等にも柔軟に対応していきたい。

【委員長】

資料は持ち帰り、今一度目を通していただいたうえで、わからない点等があれば後日質問をしていただきたい。

(4) その他

特になし

7. 閉会